

心身共にたくましく、自ら学ぶ、心豊かな子どもの育成



茅小だより 1月号

令和4年1月7日（金）

茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校
校長 吉野 利彦

ありのままの自分を 受け止めてもらえる安心感を

暖かな日差しが降り注ぐ中、2022年がスタートいたしました。保護者や地域の皆様方におかれましては、穏やかな初春をご家族でお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年末のニュースで、2021年の世相を漢字一字で表す「今年の漢字」が「金」と発表されましたが、私にとっての一字は「支」です。私が茅ヶ崎小学校の校長として着任して9か月が経ちますが、これまで学校運営を進めてこられたのは、ひとえに、教職員と保護者や地域の皆様方の温かな支えがあったからこそです。

当たり前のことですが、人は皆、誰かに支えられながら生きています。子どもは、様々なことに興味・関心を抱き、「やってみたい」という意欲をもちますが、実際にやってみると、たくさんの失敗や上手くいかないことも経験します。では、失敗を経験した子どもが、「もう一度やってみよう」と思えるか、「やっぱりやめよう」と思ってしまうかの分かれ目は、一体どこにあるのでしょうか。それは、ありのままの自分をいつでも受け止めて支えてくれる人がそばにいるという『安心感』が、子どもの心の中にあるかどうかだと思います。子どもは、様々な失敗や時には挫折を通して成長していきます。失敗してもやり直すことができるという安心感があれば、子どもは何度でも挑戦し続け、成長していくことができます。子どもたちが、次の一步を踏み出すことができるようにしていくために、学校や家庭・地域で、子どもたちが安心感と信頼感をもって生活できるようにしていくことが大切だと考えています。

2022年も、一人一人の子どもたちのかけがえのない成長を願い続けながら、教職員が一丸となって教育活動の充実に努めてまいりますので、保護者や地域の皆様方のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

◆お礼◆

学校評価アンケートでは、多くの保護者の皆様から貴重なご意見をいただき、心より感謝しております。いただいたご意見につきましては、全教職員で話し合い、来年度の学校運営に生かしてまいりますので、今後とも、温かなご支援とご協力をお願いいたします。